

12月16日衆院選



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2012
Yamagata Shimbun

2012年
11月14日
〈水曜日〉

電子
速報版

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

16日解散 来月4日公示

3年ぶり

自民、政権奪還狙う

野田政権は14日の政府・民主三役会議で、衆院選を12月4日公示、16日投開票とすることを決めた。野田佳彦首相が11月14日の党首討論で自民党の安倍晋三総裁に対し次期通常国会での衆院議員定数削減の確約を前提に「今週16日に衆院を解散してもいいと思ってる」と表明、自民党が緊急幹部会で受け入れを決めたことで決断した。衆院選が実施されれば、政権交代した2009年8月以来約3年ぶりとなる。自民党が政権奪還を実現できるかが最大の焦点で、日本維新の会など地域政党の躍進やそれに伴う政界再編の可能性も含んでいる。



党首討論を行う野田首相（右）と自民党の安倍総裁＝14日午後

首相は公債発行特例法成立など解散の条件に挙げた3課題のうち2課題に見通しが付いたのを踏まえ、衆院選挙制度改革に道筋を付け、自民、公明両党首と8月に交わした「近いうち」解散の合意を履行すべきだと決断した。選挙制度改革で首

相は「1票の格差」を是正するため小選挙区定数を「0増5減」する法案の成立を急ぎ、議員定数削減協議の具体的運びを詰める。安倍総裁は「首相提案に全面的に協力する。定数削減は来年の通常国会で成立を目指すことに最大限努力す

る」と述べた。首相は8月の自民、公明両党首との会談で衆院解散時期について「近いうちに信を問う」と発言。その後は野党側の参院での首相問責決議可決や自民党総裁の交代などに反発し、解散時期を明示しない状況が続いていた。